
TEachOtherS 活用マニュアル

単一文章への コメント活動

一つの文章に各自でコメントして，全員でふりかえり

先生用

まえがき

□ TEachOtherS とは

TEachOtherS は、グループでの作文や読解活動において、教師・学生を支援するためのシステムです。教師・学生は、PC やタブレット、スマートフォンの Web ブラウザから TEachOtherS のサーバにアクセスする形で利用します。TEachOtherS の主な機能は次のとおりです。

- 学生が Web ブラウザ上で文章を作成して、グループのメンバーと共有したり、互いの文章にフィードバックする（コメントやマークをつける）ことができます。
- 教師が、ユーザやグループの管理、活動フェーズ（文章の作成、フィードバック、グループ振り返りなど）の管理、活動データの配布などを行うのを支援します。

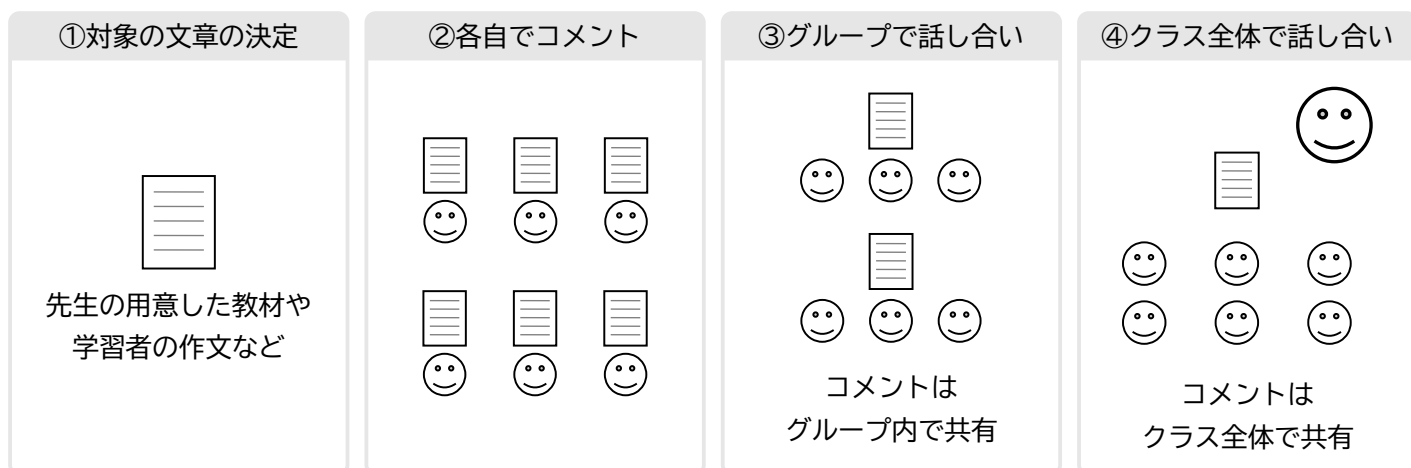
□ 単一文章へのコメント活動とは

単一文章へのコメント活動とは、グループで対象の文章を一つに決めて、全員がその文章にコメント付けを行い、その結果を共有・振り返りをする活動です。該当する活動にはさまざまなものが考えられますが、次の例を挙げておきます。

- 読解の授業で、全員が一つの文章を読んで、コメント付けしたあと、話し合う
- 作文の授業で、先生が作文例を示して、全員でコメント付けしたあと、話し合う

下の図は、単一文章へのコメント活動の一般的な流れを示したものです。個々のステップの説明を以下に示します。皆さんの活動に TEachOtherS が導入したり、新たに TEachOtherS を導入した活動を設計したりする場合の参考にしてください。

- (1) コメント対象の文章を決めます。先生が用意した教材や、特定の学生の作文が候補になるでしょう。
- (2) 活動の参加者全員が、対象の文章に個別にコメントをつけます。このとき、他人がつけたコメントは見えません。
- (3) 複数のグループに別れて、話し合いなどの活動を行います。各メンバーのコメントはグループ内で共有します。
なお、このフェーズは必須ではなく、必要に応じて行います。
- (4) クラス全員文の授業で、先生を交えて、話し合いなどの活動を行います。このフェーズでは、クラス全員がコメントを共有します。



■ 本マニュアルで取り上げる活動

■ 活動の概要

本マニュアルでは、単一文章へのコメント活動として、クラス全員が、同じ教材用の作文を対象に、文章の構成や日本語の誤りに対して、コメントづけする活動を扱います。活動の流れは、前ページと同じです。コメントづけを行ったあとは、全員のコメントを統合して、全員で振り返りを行います。

■ メンバーとグループ

活動は、次のメンバーとグループの設定で行います。なお、TEachOtherS は 20 名程度までのグループ活動を想定して設計されています。

- 学生は太郎、次郎、三郎、花子、朝子、夕子の 6 名
- ユーザ X は、コメント対象の教材作文用のダミーユーザ
- グループは、「太郎、次郎、三郎」「花子、朝子、夕子」の二つ

■ 活動例

下の図は、グループ「太郎、次郎、三郎」全員のコメントを統合して表示した結果です。コメントをつけたい範囲に「コメントタグ」をつけます。今回は日本語の誤りの指摘なので、コメントを整理しやすくするために、次のような種別を設けています。下線の色はコメントタグの種別を表します。なお、この種別は、教師が定義することができます。

- 「表記」「文法」「語彙」「書式」「その他」
- 「論理」「構成」「根拠」「その他」

グループでの話し合いは、このようにコメントを統合した結果を元に行います。この作文の冒頭のように、複数のメンバーが同一箇所コメントすると、下線が重なって表示されます。また、画面右のコメント一覧では、コメントとともに、種別や、コメントした学生の ID が表示されます。

目次

第1章 準備編	1
1.1 使用機器とソフトウェア	2
1.2 管理者用アカウントの取得	3
1.3 学生アカウントの作成	5
1.4 コメント対象の文章の準備	7
1.5 コメントタグの設定	9
第2章 実践活動編	11
2.1 「各自コメント」フェーズ	12
2.2 「グループ振り返り」フェーズ	15
2.3 「全体振り返り」フェーズ	17
第3章 その他の機能	19
3.1 活動データのダウンロード機能	20
3.2 ユーザアカウントの「オプション」機能	22
3.3 「匿名」機能	23

第1章

準備編

実践で使用する使用機器やソフトウェア，管理用・学生用のアカウントの取得など，活動に入る前に必要な準備について説明します。

1.1 使用機器とソフトウェア

TEachOtherS は、Web ブラウザから利用するサービスです。そのため、以下の三つを用意する必要があります。

- PC, タブレット, スマートフォンなどの、インターネットに接続できる機器
- Web ブラウザ
- 管理者用アカウント申請用のメールアドレス（管理者のみ）

□ インターネット接続機器

後述の条件を満たす Web ブラウザが利用できるようであれば、PC, タブレット, スマートフォンなど、いずれの機器でも TEachOtherS を使用することができます。ただし、画面サイズが小さいと、実用的な難しかったり、表示や機能に制限が出る場合もありえますので、活動の種類に合わせて、使用する機器を選択するようにしてください。なお、TEachOtherS を開発する際は、次の OS を考慮しています。

- Windows (10 以降)
- macOS
- Android (8 以降)
- iOS, iPadOS
- Linux (Ubuntu 22.04)

□ Web ブラウザ

TEachOtherS の推奨 Web ブラウザは、次のとおりです。特別な事情がない限り、最新バージョンを使用してください。

- Google Chrome
- Microsoft Edge
- Safari
- Firefox

- iOS, iPadOS では、OS と Safari の更新が連動するため、OS を最新版にするようにしてください。
- スマートフォンのメーカーが独自に開発しているようなブラウザを使用している場合は、上記の推奨ブラウザのうちの一つを別途インストールするようにしてください。特に、留学生が自国で購入したスマートフォンを利用している場合は、注意してください。
- サポート対象をはずれたような古い OS（例：Windows7 や Android 6）を使用している場合は、最新版のブラウザがインストールされているか、確認してください。

1.2 管理者用アカウントの取得

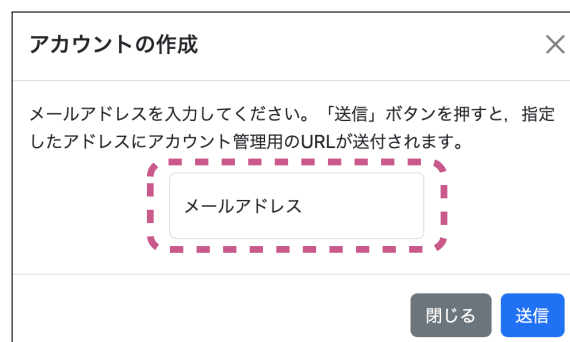
教師は TEachOtherS を使った授業活動を運営するために、管理者用アカウントを取得する必要があります。管理者アカウントの取得には、メールアドレスが必須です。

□ アカウントの申請

(1) ブラウザから [TEachOtherS](#) にアクセスし、ログインページの下端にある「アカウントの作成」をクリックします。



(2) 「アカウント作成」のポップアップにメールアドレスを入力します。「送信」ボタンをクリックすると、入力したメールアドレスに管理者用アカウントの情報が送付されます。



□ 管理者用アカウントの受信

申請時に入力したメールアドレス宛に、管理者アカウントの URL、およびログイン時に必要となる「ID」と「オプション」の情報を含んだメールが届きます。

- 次回から、管理者はこれらの情報を使用して、ログインします。忘れずに保存しておいてください。
- これらの情報はパスワードに相当します。他人に知られないよう管理してください。

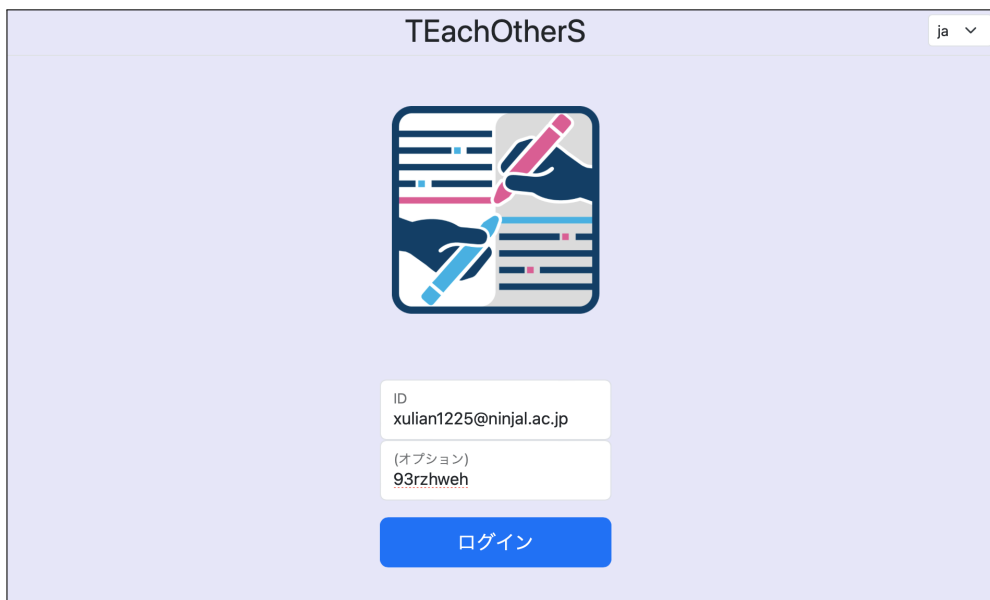
お知らせメールの例

Your TEachOtherS account has been created.
You can access your activity's console from the following URL.

URL: <https://teachothers.ninjal.ac.jp/xxxxx>
ID: (あなたのメールアドレス)
Option: XXXXXXXX

□ 管理者用アカウントへのログイン

メールアドレスに送付されたアカウント管理用の URL にアクセスすると、次のようなログイン画面が表示されます。受信したメールに指定された値を「ID」と「オプション」欄に入力し、画面の下端にある「ログイン」のボタンをクリックしてください。



管理者用アカウントのログイン画面は紫色です



1.3 学生アカウントの作成

TEachOtherS を使った活動に参加するには、アカウントが必要です。教師は活動前に学生用のアカウントを作成して、配布します。

□ ユーザ登録

(1) 管理画面の「ユーザ」タブを開き、「操作」メニューの「ユーザ登録」を選択します。

(2) 「登録するユーザを入力してください」の下にある空欄に、ユーザ名を1名1行で入力します。今回は太郎などの学習者6名の他、コメント対象の教材作文用のダミーユーザ X を追加しています。

A screenshot of the 'User Registration' form. It has a title bar with 'ユーザ登録' and a close button. Below the title is a text input area with the placeholder '登録するユーザを入力してください。'. The input area contains a list of user names: 'X', '太郎', '次郎', '三郎', '花子', and '朝子'. At the bottom right are 'Cancel' and 'OK' buttons.

- ユーザ名はログイン時に入力する他、グループ活動でのユーザの識別に使います。
- ユーザの登録は何度も行うことができます。ただし、現在のところ登録情報の削除や変更はできません。変更したい場合は、新規にユーザを登録してください。

□ ユーザー一覧

ユーザ登録が完了すると、右図のようにユーザ情報の一覧が表示されます。学生には、ID と URL を配布し、そこにアクセスしてログインしてもらいます。

A screenshot of the 'User List' table. The table has columns: ID (with a toggle for 'Show'), Update Time, Group, and URL. The data rows are: 'x' (2024/6/3 14:42:51, Group 0, URL https://10.0.0.1:8080/...), '太郎' (2024/6/3 14:42:51, Group 0, URL https://10.0.0.1:8080/...), '次郎' (2024/6/3 14:42:51, Group 0, URL https://10.0.0.1:8080/...), and '三郎' (2024/6/3 14:42:51, Group 0, URL https://10.0.0.1:8080/...). The 'x' row is highlighted with a red dashed box.

□ グループ分け

グループ分けは、ユーザー一覧の「グループ」列に0以上の数値を入れることにより、行います。今回は、次のように割り当てます。グループの番号は半角で、各ユーザのグループ欄に直接入力します。入力が終わったら、忘れずに「保存」ボタンを押してください。

なお、グループ分けの設定は実践前に行っておく必要はなく、グループ振り返りフェーズ (p.15 参照) に入る前までに行ってください。

グループ番号 0: X (教材作文用ユーザ)
グループ番号 1: 太郎, 次郎, 三郎
グループ番号 2: 花子, 朝子, 夕子

「保存」ボタンを押すのを
忘れずに！

メイン ユーザ タグ ログ その他				
操作 ▼		☒ 配布	☐ 匿名	保存
(オブショ ン)	ID	更新日時	グループ ▼	URL
x		2024/6/3 14:42:51	0	https://t.me/joinchat/AAAAA-TTIC-3406vht-t=47d6e6f6c6b7c01767c7e7d68edcdmnmic0b
太郎		2024/6/3 14:42:51	1	https://t.me/joinchat/AAAAA-TTIC-3406vht-t=47d6e6f6c6b7c01767c7e7d68edcdmnmic0b
次郎		2024/6/3 14:42:51	1	https://t.me/joinchat/AAAAA-TTIC-3406vht-t=47d6e6f6c6b7c01767c7e7d68edcdmnmic0b
三郎		2024/6/3 14:42:51	1	https://t.me/joinchat/AAAAA-TTIC-3406vht-t=47d6e6f6c6b7c01767c7e7d68edcdmnmic0b
花子		2024/6/3 14:42:51	2	https://t.me/joinchat/AAAAA-TTIC-3406vht-t=47d6e6f6c6b7c01767c7e7d68edcdmnmic0b
朝子		2024/6/3	?	https://t.me/joinchat/AAAAA-TTIC-3406vht-t=47d6e6f6c6b7c01767c7e7d68edcdmnmic0b

授業の学生が多い場合やランダムにグループ分けをしたい場合など、自動でグループ分けしたい場合は、「URL」の左側にある「グループ」のプルダウンメニューを使ってください。選択できるグループ分けの方法は、（１）ランダム、（２）ユーザー一覧の上から順、（３）なし〔グループ番号が全員 0 になる〕、の三つです。グループの数は、「グループ数」欄に数値を入れて指定します。

メイン

ユーザ

タグ

ログ

その他

操作

☒ 配布
☐ 匿名

保存

ID	(オブジェクト名)	更新日時	グループ	URL
x		2024/6/3 14:42:51	ランダム	/tk...
			上から順	6et...
太郎		2024/6/3 14:42:51	なし	/tk...
				6et...
次郎		2024/6/3 14:42:51	グループ数	/tk... t=47d6et...

- 自動で分割された場合も、「保存」ボタンを押す必要があります。
- 自動で分割後、手動で修正することもできます。

1.4 コメント対象の文章の準備

コメント対象の文章を指定するには、登録したユーザのうち、教師が一人を指定することによって行います。今回はダミーユーザ「X」の文章をコメント対象とするので、「X」をコメント対象のユーザとして指定します。コメント対象の文章は、「X」の作文として、教師が活動前に入力します。

□ コメント対象ユーザの指定

管理画面の「メイン」タブを開いて、「活動タイプ」と「フェーズ管理」欄を指定します。

今回は、下の図のように、「活動タイプ」は「単一文章へのコメント活動」、「対象ユーザ ID」は「X」、「フェーズ管理」は「作文」を指定しています。指定したら、「保存」ボタンをクリックします。

メイン ユーザ タグ ログ その他

活動タイプ
単一文章へのコメント活動 ▼

対象ユーザID
X ▼

フェーズ管理
文章作成 ▼

バージョン
init ▼ 新規作成

ホームページ
URL

保存

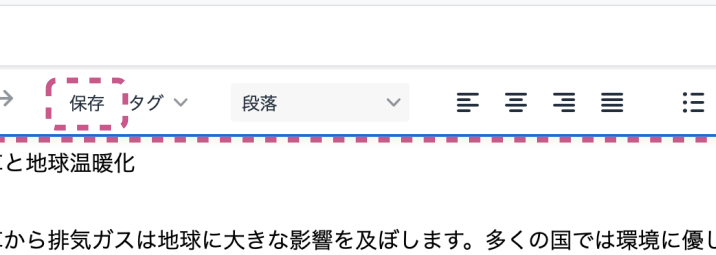
- ウィンドウ下部の「保存」ボタンを押すのを忘れずに！
- 学生の作文を対象とする場合は、ダミーユーザではなく、学生の ID を指定します。

□ コメント対象の文章の入力

管理画面の「ユーザ」タブで、指定したいユーザの URL をクリックして、ログインします。今回の場合は、「X」の URL から TEachOtherS のログイン画面を起動し、ログイン画面の ID 欄で「X」と入力します。

[illegible]

ログインした後、以下のようなエディタ画面が表示されます。教材用の文章は、ここに入力し、「保存」ボタンを押してください。今回はダミーユーザでログインしましたが、特定の学生の作文をコメント対象とする場合も同様の方法で、文章を入力できます。



三 [文章作成 - ver: 1]

保存 タグ ▼

自動車と地球温暖化

自動車から排気ガスは地球に大きな影響を及ぼします。多くの国では環境に優しい車を開発していて、電気自動車やハイブリッド車を普及しつつあります。しかし、完全にガソリン車を廃止するにはまだ多くの被害があると思う。政府は排気ガスの排出を規制する努力をしています、これもよくないことがあります。

テレビやインターネットで環境に悪い影響を及ぼす車の広告を制限するかどうかは、メディア企業の方針によって決めたが一般的です。

確か、広告が消費者の選択に影響を与える陪分は大きいですが、宏告を見て環境に悪い車を買う人、買わない人、それぞれが自分の価値観で決定することが大切です。

- 文章は Word などで作成して、貼り付けても OK です。
- 編集内容が保存されていない場合、エディタ上部のタブのユーザ名に赤い線が表示されます。

1.5 コメントタグの設定

前書きで述べたとおり、コメントタグの種別は、教師が活動の内容に応じて定義し、TEachOtherS に設定することができます。TEachOtherS におけるコメントには、「個別コメント」と「全体コメント」の2種類があるため、それぞれについて設定します。個別コメントは、誤字や文法に対する指摘のように、文章の特定の部分に行われるコメントです。全体コメントは、文章の特定の範囲を指定しないコメントです。例えば、文章全体や活動全体などに対するコメントを想定しています。

□ 個別コメント用のタグの設定

(1) 管理画面の「タグ」タブを選択し、「個別」タブを開いてください。

メイン	ユーザ	タグ	ログ	その他																		
個別 全体 保存 <table><tr><td>Category1 ☒</td><td>Category2 ☒</td></tr><tr><td>tag-1-1</td><td>tag-2-1</td></tr><tr><td>tag-1-2</td><td>tag-2-2</td></tr><tr><td>tag-1-3</td><td>tag-2-3</td></tr><tr><td>tag-1-4</td><td>tag-2-4</td></tr><tr><td>tag-1-5</td><td>tag-2-5</td></tr><tr><td>tag-1-6</td><td>tag-2-6</td></tr><tr><td>tag-1-7</td><td>tag-2-7</td></tr><tr><td>tag-1-8</td><td>tag-2-8</td></tr></table>					Category1 ☒	Category2 ☒	tag-1-1	tag-2-1	tag-1-2	tag-2-2	tag-1-3	tag-2-3	tag-1-4	tag-2-4	tag-1-5	tag-2-5	tag-1-6	tag-2-6	tag-1-7	tag-2-7	tag-1-8	tag-2-8
Category1 ☒	Category2 ☒																					
tag-1-1	tag-2-1																					
tag-1-2	tag-2-2																					
tag-1-3	tag-2-3																					
tag-1-4	tag-2-4																					
tag-1-5	tag-2-5																					
tag-1-6	tag-2-6																					
tag-1-7	tag-2-7																					
tag-1-8	tag-2-8																					



- 個別コメント用のタグには、2種類（Category1, 2）のカテゴリがあります。各カテゴリには、8個のタグを定義できます。
- 1セットしか使わないようであれば、カテゴリ名の横のチェックボックスで無効にしてください。

(2) タグ名とカテゴリ名を記入してください。次の例では、カテゴリ名を「形式」として、前書きで述べた五つのタグを定義しています。定義が不要な欄は空欄にしてください。記入が終わったら、必ず「保存」ボタンを押してください。

メイン	ユーザ	タグ	ログ	その他																		
個別 全体 保存 <table><tr><td>形式 ☒</td><td>内容 ☒</td></tr><tr><td>表記</td><td>論理</td></tr><tr><td>語彙</td><td>構成</td></tr><tr><td>文法</td><td>根拠</td></tr><tr><td>書式</td><td>(タグ名)</td></tr><tr><td>(タグ名)</td><td>(タグ名)</td></tr><tr><td>(タグ名)</td><td>(タグ名)</td></tr><tr><td>(タグ名)</td><td>(タグ名)</td></tr><tr><td>(タグ名)</td><td>(タグ名)</td></tr></table>					形式 ☒	内容 ☒	表記	論理	語彙	構成	文法	根拠	書式	(タグ名)	(タグ名)	(タグ名)	(タグ名)	(タグ名)	(タグ名)	(タグ名)	(タグ名)	(タグ名)
形式 ☒	内容 ☒																					
表記	論理																					
語彙	構成																					
文法	根拠																					
書式	(タグ名)																					
(タグ名)	(タグ名)																					
(タグ名)	(タグ名)																					
(タグ名)	(タグ名)																					
(タグ名)	(タグ名)																					



- タグ名は、さまざまな場面で表示されるので、できるだけ簡潔に記述することをおすすめします。
- 表示例は、2.1.3 節『コメントづけ（個別コメント）』を参考にしてください。

全体コメント用のタグ設定

- (1) 管理画面の「タグ」タブを選択し、今度は「全体」タブを開いてください。デフォルトでは、「作文全体への注記」のスイッチはオフになっているので、オンの状態にしてください。全体コメントを使用しない場合は、特に設定を変更する必要はありません。

メイン ユーザ タグ ログ その他

個別 全体 保存

☒ 作文全体への注記

n段階評価

5

観点1

観点2

観点3

観点4

観点5



全体コメントは、授業の終わりにしばしば用いられる「評価シート」のような位置づけで導入されています。

- (2) タグ名を記入してください。定義が不要な欄は空欄にしてください。各タグにはコメントの他、必要に応じて、n段階の評価値をつけることもできます。記入が終わったら、必ず「保存」ボタンを押してください。

メイン ユーザ タグ ログ その他

個別 全体 保存

☒ 作文全体への注記

n段階評価

5

形式

内容

観点3

観点4

観点5



- 実際の使い方は、「コメントづけ（全体コメント）」(p.14) を参照してください。
- デフォルトでは、「観点1」から「観点6」がタグ名として設定されています。画面表示の関係上、タグ名はできるだけ短くするのがよいでしょう。

第2章

実践活動編

実践では、準備編で行った設定に基づき、学生のコメントづけ（各自コメント）、グループでの振り返り、クラス全員での振り返りを行います。教師は、これらの活動の管理を「フェーズ」の切り替えにより行います。

2.1 「各自コメント」フェーズ

このフェーズでは、学生が各自、評価対象となる文章にコメントします。教師は、TEachOtherS を「各自コメント」フェーズにし、学生にコメントづけ活動を始めるよう指示します。学生が各自の個人用アカウントから TEachOtherS にログインすると、評価対象の文章へのコメントづけ活動が始まります。

□ 「各自コメント」フェーズへの切り替え

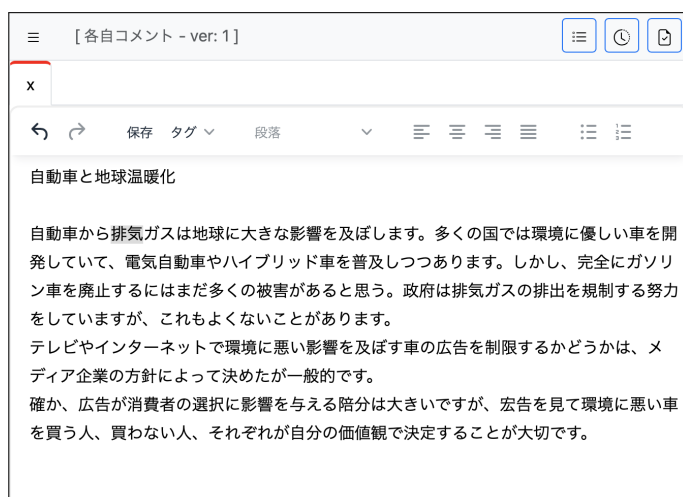
管理画面の「メイン」タブをクリックします。このうち、活動タイプとフェーズ管理がそれぞれ「単一文章へのコメント活動」「各自コメント」になっていることを確認してください。もし、なっていないければ、変更して、「保存」ボタンを押してください。保存が完了すると、「各自コメント」フェーズに切り替わり、学生がコメントづけできる状態になります。



フェーズ切り替えの操作は、すでにログインしている学生のフェーズを自動的に変更するわけではありません。学生がブラウザをリロードするか、再度ログインしたときに変更が適用されます。

□ 学生へのログインの指示

教師が活動のフェーズを「各自コメント」に切り替えた後、学生にログインするよう指示します。学生が自分のアカウントにログインすると、教師が事前にアップロードしたコメント対象の文章が表示されます。

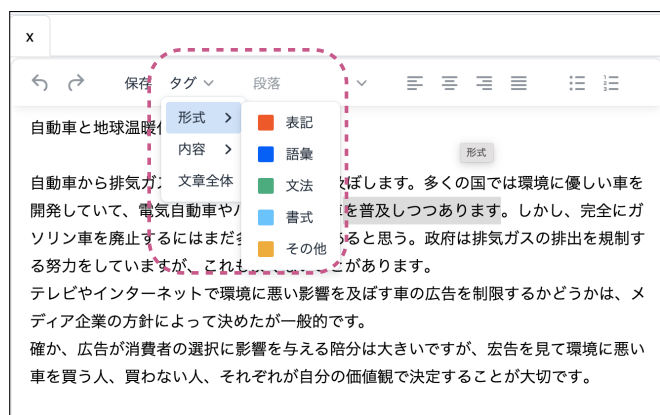


- ウィンドウ上部にはフェーズ名「個別添削」、エディタのタブにはコメント対象のユーザ名の「X」が表示されます。
- 「個別添削」フェーズでは、文章の変更はできません。

□ コメントづけ（個別コメント）

■ コメントの付け方

文章へのコメントづけするには、まず、コメントしたい箇所を選択し、「タグ」メニューからコメントタグを指定してください（左図）。すると、コメント入力用のウィンドウ（右図）が表示されます。「OK」ボタンを押すと、選択した箇所の文字に下線が引かれます。なお、同じ場所に重複して、コメントづけすることも可能です。



×

アノテーション内容

注釈者： 太郎

対象： を普及しつつあります

文法

✕

「が」 普及しつつあります？

Cancel

OK



- 「タグ」メニューの1階層目は、前章（「個別コメント用のタグの設定」）で定義したカテゴリ、2階層目がコメントタグになります。
- コメントタグの種類によって、文章への下線の色が異なります。

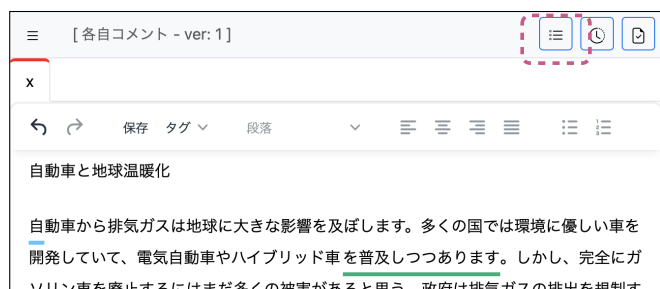


- 入力フォームにコメントを入力してください。空欄の場合、コメントタグのみ付与されます。
- コメントタグを変更したい場合は、画面左のメニューから再選択できます。

■ コメントの修正と削除

コメントを修正したい場合、対象のコメントの下線をダブルクリックすれば、上で説明したコメント入力用のウィンドウが表示されるので、そこで修正を行います。削除する場合は、ゴミ箱のアイコンを押してください。

なお、ウィンドウ上部（下図左）の「≡」をクリックすると表示されるコメント一覧（下図右）からも、修正・削除が可能です。一覧の「⚙」（歯車のアイコン）をクリックすれば、コメント入力用のウィンドウが表示されます。



「全体コメント」は「個別コメント」と異なり、文章の特定の部分を指定しない、文章全体へのコメントです。全体コメントを付与するには、「タグ」メニューの「文章全体」（左図）をクリックすると、入力用のウィンドウ（右図）が表示されるので、そこから入力してください。「全体コメント用のタグ設定」（p.10）で設定したタグ一覧がウィンドウ左に表示されるので、個別にクリックして、評価値（画面上部のプルダウンメニュー）とコメントを入力します。なお、全体コメントをオフにしている場合は、「タグ」メニューに「全体」は現れません。

三 [各自コメント - ver:1] 三 ㊟ ㊦

x

← → 保存 タグ ↓ 形式 ↓ ≡ ≡ ≡ ≡ ≡ ≡ ≡ ≡

自動車と地球温暖化

形式 >
内容 >

文章全体

自動車から排気ガスは大きな影響を及ぼします。多くの国では環境に優しい車を開発していて、電気自動車やハイブリッド車を普及しつつあります。しかし、完全にガソリン車を廃止するにはまだ多くの被害があると思う。政府は排気ガスの排出を規制する努力をしていますが、これもよくないことがあります。

テレビやインターネットで環境に悪い影響を及ぼす車の広告を制限するかどうかは、メディア企業の方針によって決めたが一般的です。

確か、広告が消費者の選択に影響を与える陪分は大きいですが、広告を見て環境に悪い車を買う人、買わない人、それぞれが自分の価値観で決定することが大切です。



文章全体への注釈

形式

内容

観点3

観点4

観点5

観点6

観点7

(未選択)

(まだ何も入力されていません)

Cancel

OK

コメントづけが終了したら、必ず「保存」ボタンを押すよう、学生に指示します。「保存」ボタンを押さないと、サーバにコメントづけ結果が記録されません。特に、別のフェーズに移行する前には、すべての学生が保存したかを確認してください。なお、コメントづけやコメントの編集を行ったにもかかわらず、保存していない場合は、左図のようにタブの上部が赤い状態になります。また、各学生の最終保存日時は、ユーザー一覧（右図）の「更新日時」欄で確認することができます。

[illegible]

2.2 「グループ振り返り」フェーズ

「グループ振り返り」フェーズでは、「各自コメント」フェーズのコメントを、グループ単位で対象文章上に統合し、振り返りを行います。なお、「グループ振り返り」を飛ばして、次節の「全体振り返り」フェーズに進んでもかまいません。

□ 「グループ振り返り」フェーズへの切り替え

管理画面の「メイン」タブで「フェーズ管理」をクリックし、「グループ振り返り」に切り替え、「保存」ボタンを押してください。このフェーズでは、学生が個別に行ったコメントをグループ内で互いに閲覧できるようになります。グループの設定は、準備編（p.6）で行った内容が反映されます。

The screenshot shows a management interface with tabs: メイン, ユーザ, タグ, ログ, その他. The 'フェーズ管理' (Phase Management) section is highlighted with a red dashed box, showing 'グループ振り返り' (Group Reflection) selected from a dropdown menu. Other visible fields include '活動タイプ' (Activity Type) set to '単一文章へのコメント活動' (Single text comment activity), '対象ユーザID' (Target User ID) set to 'x', 'バージョン' (Version) set to 'init', and a 'ホームページ' (Homepage) URL field. A '保存' (Save) button is at the bottom.

- 「各自コメント」フェーズで保存し忘れたコメントは、保存できなくなるので、フェーズの切り替えは慎重に行ってください。
- 「グループ振り返り」フェーズでは、学生は本文の編集はできないのはもちろんのこと、コメントづきもできません。

□ 学生へのフェーズ切り替えの指示

教師が行ったフェーズ切り替えを学生の TEachOtherS に反映させるために、ブラウザをリロードするよう学生に指示してください。次の図は、「グループ振り返り」フェーズにおける学生側での TEachOtherS の表示例です。このように、グループのメンバー（太郎、次郎、三郎）のコメントが統合されて表示されます。

The screenshot shows a student view of a document titled '自動車と地球温暖化' (Cars and Global Warming). The document text discusses the impact of cars on the environment. On the right side, a list of comments is displayed, grouped by member: 次郎 / 構成, 太郎 / 書式, 太郎 / 文法, 次郎 / 文法, 三郎 / 文法, 太郎 / 根拠, 次郎 / 文法, 次郎 / 語彙, and 三郎 / 表記. A red dashed box highlights this comment list. Below the list is a text input field for a new comment and a dropdown menu for '（著者の応答なし）' (No response from author).

振り返りの支援機能

学生がグループでの振り返りを行う際に便利な機能を二つ紹介します。

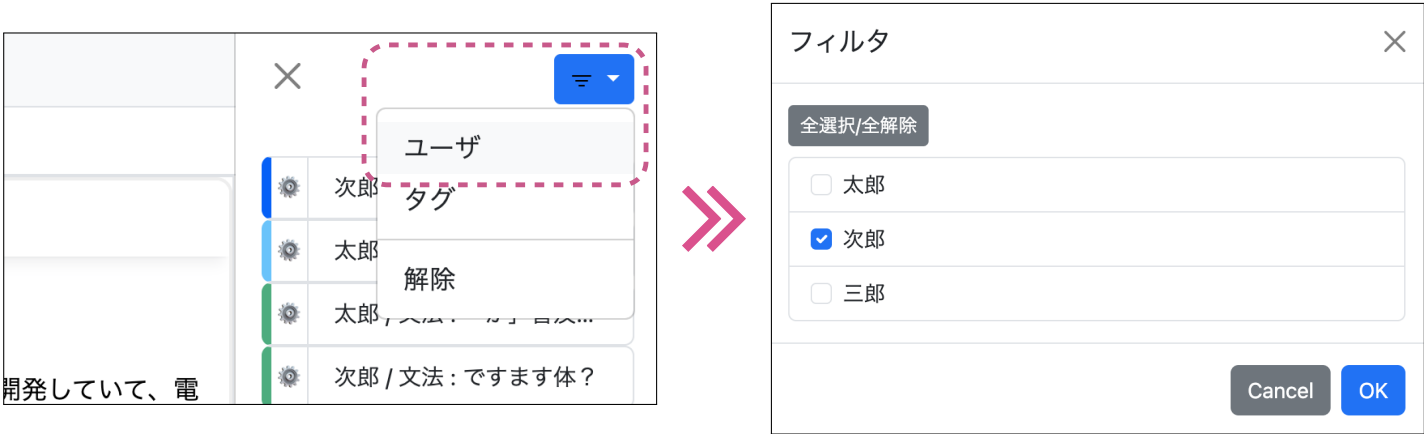
コメントの詳細の閲覧

文章中の下線をクリックすると、コメント一覧（画面右）の当該項目の外枠が黒くなります。下線が重複しているときは、複数の項目が対象になります。各項目の詳細を参照するには、「ギア」のアイコンをクリックしてください。



ユーザやコメントタグでの絞り込み

コメント一覧のメニュー（右上）から、ユーザやコメントタグで、コメントを絞り込みを行うことができます。次の例では、ユーザ「次郎」で絞り込みを行う例です。絞り込みを行うと、コメント一覧のだけでなく、文章のほうにも反映されます。例では、「次郎」がコメントした場所のみ、下線が引かれます。絞り込みを解除するには、コメント一覧のメニューから「解除」を選択してください。



2.3 「全体振り返り」フェーズ

全体振り返りフェーズでは、クラス全員での振り返りを行います。このフェーズでは、先生も交えつつ、すべてのメンバーのコメントも踏まえて、振り返りを行います。

□ 「全体振り返り」フェーズへの切り替え

教師が管理画面の「メイン」タブで「フェーズ管理」をクリックし、「全体振り返り」に切り替え、「保存」ボタンを押してください。これにより、グループの設定に関わらず、クラス全体が一つのグループになり、すべての学生のコメントが対象文章上に統合されます。このフェーズでは、「グループ振り返り」フェーズと同様、学生は本文の編集はできないのはもちろんのこと、コメントづけもできません。

The screenshot shows a web form for managing phases. At the top, there are tabs: 'メイン' (Main), 'ユーザ' (User), 'タグ' (Tag), 'ログ' (Log), and 'その他' (Others). The 'メイン' tab is active. Below the tabs, there are several sections: '活動タイプ' (Activity Type) with a dropdown menu showing '単一文章へのコメント活動' (Single Article Comment Activity); 'フェーズ管理' (Phase Management) with a dropdown menu showing '全体振り返り' (Overall Reflection); 'バージョン' (Version) with a dropdown menu showing 'init' and a '新規作成' (New Creation) button; and 'ホームページ' (Homepage) with a text input field for 'URL'. A large blue '保存' (Save) button is at the bottom. A red dashed box highlights the '活動タイプ' and 'フェーズ管理' sections.

「各自コメント」フェーズで保存し忘れたコメントは、保存できなくなるので、フェーズの切り替えは慎重に行ってください。

□ 「全体振り返り」フェーズの活動の流れ

「全体振り返り」フェーズを切り替えた後は、「グループ振り返り」フェーズと同様、学生へのフェーズ切り替えの指示を行います。前述のとおり、クラス全体が一つのグループとして扱われますが、振り返りの支援機能は、「グループ振り返り」フェーズと変わりありません。

第3章

その他の機能

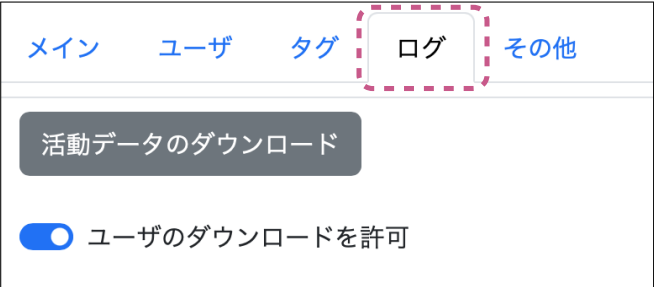
これまで章では、必要不可欠な機能のみを説明しました。本章では、活動の内容によっては必要になる機能として、活動データのダウンロード機能、ユーザアカウントの「オプション」機能、匿名機能を紹介します。

3.1 活動データのダウンロード機能

TEachOtherS で行った活動の結果は、「活動データ」として、教師や学生がダウンロードすることができます。ダウンロードした活動データには、コメント対象の文章のほか、学生が付与したコメントが含まれます。データの形式は、HTML なので、ブラウザで閲覧したり、(HTML の知識があれば) 必要なデータを抽出することが可能です。

教師がダウンロードする場合

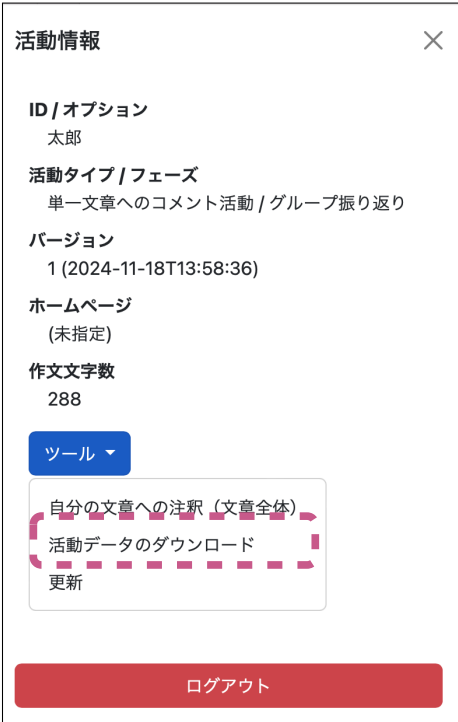
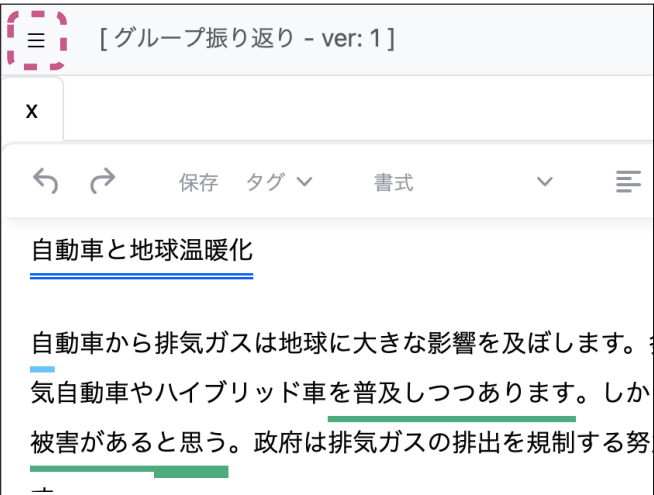
管理画面の「ログ」タブの切り替え、「活動データのダウンロード」のボタンを押してください。活動データが zip ファイル形式でダウンロードされます。利用方法は、このあとの節で説明します。



教師本人だけでなく、学生にもダウンロードの権限を与えたい場合、「活動データのダウンロード」ボタンの下にある「ユーザのダウンロードを許可」をオンにしてください。

学生がダウンロードする場合

教師側で「ユーザのダウンロードを許可」(上図)をオンにしておくと、学生側でも、画面左上「≡」→「活動情報」→「ツール」メニューの「活動データのダウンロード」から、活動データがダウンロードできるようになります。



ダウンロードしたファイルの使い方

ダウンロードされたファイルを解凍して、index.html ファイルを探してください（末尾の.html は PC 環境によって表示されない場合があります）。index.html をクリックすると、既定の Web ブラウザで、次のような画面が表示されます。

作文の編集やアノテーションの追加はできないなど一部の機能は制限されますが、データの閲覧機能については、サーバ上の TEachOtherS と大きな違いはありません。下図は、「フィルタ」機能を利用しているところです。

x 太郎 次郎 三郎 花子 朝子 タ子

自動車と地球温暖化

自動車から排気ガスは地球に大きな影響を及ぼします。多くの国では環境に優しい車を開発していて、電気自動車やハイブリッド車を普及しつつあります。しかし、完全にガソリン車を廃止するにはまだ多くの被害があると思う。政府は排気ガスの排出を規制する努力をしていますが、これもよくないことがあります。

テレビやインターネットで環境に悪い影響を及ぼす車の広告を制限するかどうかは、メディア企業の方針によって決めたが一般的です。

確か、広告が消費者の選択に影響を与える 陪分は大きいですが、宏告を見て環境に悪い車を買う人、買わない人、それぞれが自分の価値観で決定することが大切です。

個別 全体

フィルタ

ユーザ

アノテーション

解除

次郎 / 文法

によって決められる？

次郎 / 語彙

確かに？

三郎 / 表記

部分？

- 教師がダウンロードした活動データには、すべての学生のデータが含まれます。
- 学生の場合は、ダウンロード機能を利用するフェーズによって、異なります。例えば、グループ振り返りでは、グループのメンバーのデータのみに制限されます。

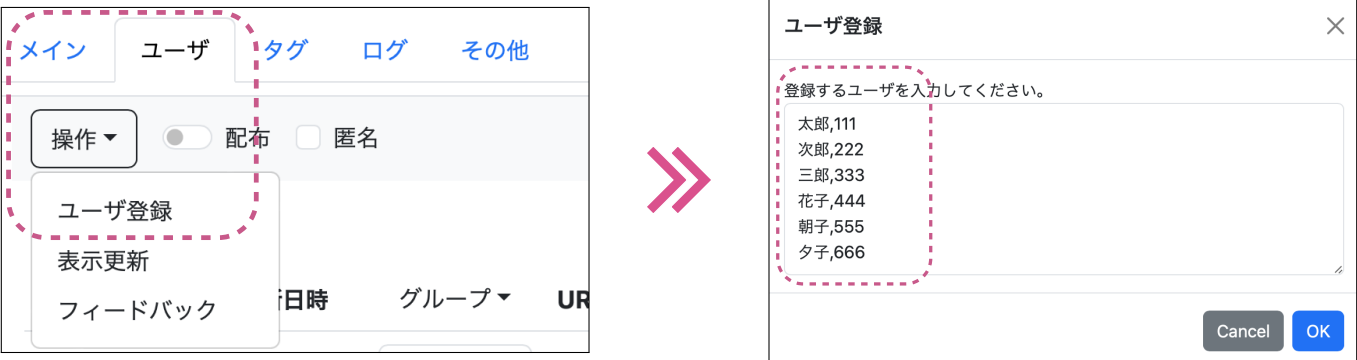
3.2 ユーザアカウントの「オプション」機能

前章までの例では、学生がログインする場合、各ユーザには固有の URL を設定しているため、「ユーザ ID」のみでログインし、パスワードは使用していませんでした。

もし、パスワードを設定したい場合は、ユーザ登録時に「オプション」機能を利用してください。このオプションを設定すると、学生はログイン時に「ユーザ ID」と「オプション」の両方を入力することになります。

□ オプション」の設定

- (1) 学生のユーザ登録は、準備編で説明した方法と同様です。管理画面の「ユーザ」タブで「操作」メニューから「ユーザ登録」を選択します。
- (2) 「ユーザ登録」欄には、「学生のユーザ ID+ 半角カンマ + オプション」の形で入力してください（右図）。



- (3) 追加されたオプションの情報は、「ユーザ」タブの画面において、「ID」の右列に表示されるようになります。学生「太郎」がログインする際は、右図のようにユーザ名とオプションを入力します。



3.3 「匿名」機能

学生が「個別評価」フェーズでコメントづけなどを行うと、グループ振り返りと全体振り返りの際、注釈者名として、学生の「ユーザ ID」のままで表示されます。教育上、「ユーザ ID」が表示されるのが好ましくない場合、コメントの注釈者名を見えないようにする「匿名」機能を利用してください。

「匿名」オプションの設定

「匿名」機能を利用するには、「ユーザ」タブの「匿名」オプションにチェックを入れ、「保存」ボタンを押してください。

「匿名」オプションをつけると、下図のように、コメントなどの注釈者名が「匿名」と表示されるようになり、学生間では注釈者が誰なのかわからなくなります。

メイン ユーザ タグ ログ その他

操作

☐ 配布 ☒ 匿名

保存

ID	(オプション)	更新日時	グループ	URL
x		2024/6/10 12:06:41	0	https://tk2-251-35030.vs.s...t=47d6eb6582a872337fb1
太郎		2024/6/10 12:06:41	1	https://tk2-251-35030.vs.s...t=47d6eb6582a872337fb1

[グループ振り返り - ver: 1]

×

≡

x

← → 保存 タグ 書式

自動車と地球温暖化

自動車から排気ガスは地球に大きな影響を及ぼします。多くの国では環境に優しい車を開発して、電気自動車やハイブリッド車を普及しつつあります。しかし、完全にガソリン車を廃止するにはまだ多くの被害があると思う。政府は排気ガスの排出を規制する努力をしていますが、これもよくないことがあります。テレビやインターネットで環境に悪い影響を及ぼす車の広告を制限するかどうかは、メディア企業の方針によって決めたが一般的です。

匿名 / 構成

匿名 / 書式

太郎 / 書式

太郎 / 根拠

太郎 / 文法

太郎 / 文法

匿名 / 文法

匿名 / 文法

